

# 指導案

## 1 テーマ

自分史をつくろう

## 2 ねらい

- ・比較的近い過去である中学時代(あるいはそれに相当するころ)を振り返る。
- ・過去に伴った自分の気持ちを分析し、過去をとらえなおす。
- ・過去について自分で書いた記録を残し、将来を考える材料にする

## ③授業タイムライン (50分)

時間	学習過程	司会の動き	ファシリテーターの動き	生徒の反応
5分	○導入 テーマ説明 自分史とはどのようなものか	前から生徒に声をかけることで、生徒の注目を集める	・前への注目を促す ・落ち着かない様子の生徒に対応する	・話を聞いている ・友人間で話している ・席を動かさずとしない ・スマホをいじる
5分	○ワーク1 ・自分史の作り方の説明 ・目標確認	<b>例示を出して、作成の流れを確認する</b> ※自分史は班で公開しないことを約束する		・話を聞いている ・スマホをいじる
25分	○ワーク2 自分史作成	・ <b>机間巡回</b> 答えに詰まる生徒に声をかける ・ 残り時間を随時知らせる。	・ <b>基本体制は見守り進みの遅い生徒を補助する。</b> (自身の自分史を見せ、例示する、印象に残ったことを、些細なものから書き出させるなど) ・ 見られたくない、ひとりで考えるという生徒には干渉せずに見守る	・ ワークシートに記入する ・ 考え込んで手が止まる ・ 感情が不安定になる
5分	○まとめ 目標の確認 発展課題の提示(当時の自分の様子を他者(保護者など)に聞いてくる)	自分の方を向いてもらう	司会の話聞くように促す	後ろを向いていたりする